



6/28

# 6月定例会 一般質問

今般の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられたかたがたに、謹んで哀悼の意を表しますとともに感染されている方々に、心よりお見舞いを申し上げます。また、最前線で治療やワクチン接種にご尽力いただいている医療従事者をはじめ、関係機関の皆さん、感染拡大防止にご協力いただいている県民の皆さんには、衷心から感謝を申し上げる次第でございます。県政報告 VOL25 では、6月例会での一般質問の内容をお届けいたします。

県政レポートVOL.25

2021年（令和3年）8月発行

奈良県議会議員（葛城市選挙区）

## 問

青少年のインターネットリテラシーの向上について



コロナ禍にあつて、オンライン授業の普及など、インターネット

の必要性が高まる中、インターネットを介した犯罪、被害者の危険性もあることから、青少年に正しくインターネットを活用されることが必要と考えますが、県として、どのように取り組まれていくのか、お聞かせをください。

## 答

吉田春行  
文化くらし創造部長

デジタル社会の加速化とコロナ禍により、教育現場を含め、社会全体でオンライン化が進んでおり、インターネットの利便性が今まで以上に高まる一方、犯罪被害やネットいじめが本県においても発生しております。県では、青少年にインターネットを正しく利用する知識、能力、いわゆるインターネットリテラシーを身に付けてほしいという思いから、県内小中学校、高等学校などに専門講師を派遣し、犯罪被害に遭つた危険性やSNSに投稿する際の注意事項などを啓発する講習会をこれまでから実施してまいりました。また本年3月には、県内ケーブルテレビ会社と大学生ボランティアの協力を得て作成しました啓発動画をケーブルテレビで放映するほか、県HPでも公開するなど、啓発に努めてまいりました。

今年度は、専門講師による講習会をオンラインでも実施することとし、5月下旬で、す

## 問

金剛葛城山系の登山道整備について

でに昨年同期を超える要望を学校から受けております。リテラシーの向上は、インターネットを利用する者すべての課題であると考えておりますが、成長過程にある青少年は、デジタル社会の中でしっかりと倫理を身に付けることが特に重要であると考えております。今後とも、県や市町村の教育委員会、県警察など関係機関と連携しまして、インターネットリテラシーの向上に取り組んでまいりたいと考えております。

金剛山・葛城山・二上山など、金剛葛城山系は大阪府と奈良県の府県境にあり、登山道も複数の自治体をまたいで存在しております。広域的な視点から登山道の整備について検討していく必要があると考えますが、奈良県として今後どのように取り組んでいこうとしておられるのか、お聞かせをください。

## 答

塩見浩之  
水循環森林景観環境部長

コロナ禍における密を避けた余暇の過ごし方として、身近な自然の中での登山やハイキングなどに注目が集まっており、奈良県の素晴らしい自然を来訪者に満喫していただくため、安心安全な登山道の整備が重要であると認識しております。金剛葛城山系の登山道には、大阪府との県境の尾根筋を縦走するダイヤモンドトレイルのほか、麓の各所からダイヤモンドトレイルへ接続する登山道があります。ダイヤモンドトレイルについては、複数の自治体を通過し、かつ利用者が集中する幹線であることから、県において整備に取り組んでおります。近年では、令和元年度より、葛城山頂付近から南の水越峠に向かう区間333メートルの整備を実施しており、今年度は、山頂付近から北側の区間約400×

## 問

県道橿原新庄線奥田工区の整備の進捗状況について

トールを整備することとしています。麓からダイヤモンドトレイルへ接続する各登山道については、その多くが市町村道、または里道となっており、関係各市町村が整備を担うこととなります。県としては、整備が必要な登山道について、市町村からの技術的相談に積極的に対応するとともに、整備に活用できる環境省所管の自然環境整備交付金の確保にも努めているところでございます。

葛城市においては、はじめに工業団地周辺の企業誘致に向けた市道整備に取り組まれており、また県においては地域の交通の利便性を高めるとともに、今後の奈良県の産業振興にとって重要な県道橿原新庄線の整備を進めていただいているところですが、県がはじめに工業団地の東側で実施している県道橿原新庄線奥田工区の整備の進捗状況と、今後の見通しについてお聞かせください。

## 答

松本健  
県土マネジメント部長

県道橿原新庄線奥田工区は、御所市柳原から葛城市を経て、大和高田市奥田に至る1.1キロの事業でございます。国道24号や京奈和自動車御所ICから葛城市のはじめに工業団地へのアクセス向上が期待される中、現在、整備に向けて県が取り組んでおります。御所IC周辺産業集積地へのアクセスも期待されております。奥田工区のうち、葛城市域については改良工事は完了しており、二区間100メートルが共用済でございます。御所市域については用地買収は完了しており、今年度は柳原西交差点の東側部分や、御所市域の北側部分で擁壁工や舗装工を実施する予定でございます。【裏面に続く】

# 国道165号

## 大和高田バイパスの早期整備を

### 要望

【表面から続く】長引くコロナ過により、県民の生活は深刻な影響を受けていることから、コロナ過の終息後には、物流・観光等の経済活動を回復させるための対策にしっかりと取り組むことが重要であり、民間における建設投資の減退を補う観点からも、防災・減災・国土強靱化の推進、道路整備の加速化など、将来に向けた投資に戦略的に取り組む事が必要であると考えます。今後も引き続き、県土強靱化対策を強力に推進するとともに、工業団地や観光地へのアクセス道路や、県民の安心安全を支える道路の整備を進めていく必要があると考えます。

東西交通の大動脈である大和高田バイパスは、南阪奈道路と繋がり奈良県の中南部と大阪中心部の経済圏や関西国際空港へもアクセスするとともに、葛城市・大和高田市等における、現国道165号の交通混雑の緩和や、交通安全を目的に計画された道路で、現在、国の機関である奈良国道事務所により事業を進めていただいております。

計画延長、14.4キロのうち、現国道165号の香芝市穴虫から葛城市当麻寺交差点までの北側、約4.9キロが平成7年度に開通し、大和高田バイパスランプの

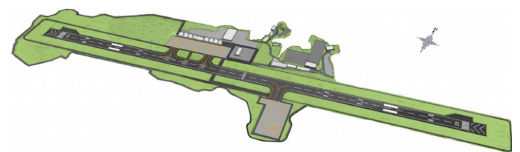
葛城市太田から、橿原市四条町の県立医科大学前までの高架部も、平成15年度に全線開通しました。これにより大和高田バイパスと南阪奈道路とで、大阪と奈良を結ぶこととなり、関西国際空港等から中南部地域へのアクセスが大幅に向上したところでございます。このような状況の中で、大和高田バイパスは、大和高田バイパスランプの葛城市太田からの北側当麻寺交差点までの区間2.3キロのみ未完成となっております。この区間が完成しますと、平行している県道御所香芝線の渋滞緩和が図られるとともに、奈良県の中南部と大阪中心部を結ぶ広域的な道路ネットワークが強化されることで、さらに中南部地域における企業立地が進み、これまで以上に地域が活性化するものと期待をしております。

現在、未完成の2.3キロの区間について、国は起点側の太田地区から順次用地買収に着手しておられ、太田地区では約5割の用地買収が完了していると聞き、いたしてあります。一方、終点側の当麻地区においては、県道御所香芝線の交差点形状について、まだ地元の理解が得られていない状況であると聞いております。一刻も早い完成を目指し、今後も奈良国道事務所には、積極的に事業を進めていただきたいと考えているところでございます。

## 県政HOTニュース

### 五條市に大規模広域防災拠点

県は7月5日、「奈良県大規模広域防災拠点整備基本計画」を策定しました。これは「奈良県地域防災計画」等を踏まえ、県が整備する大規模広域防災拠点の在り方や導入すべき機能、施設規模や配置計画、平常時も含めた活用方法などについて、県の基本的な考え方を取りまとめたものです。



2000m級の滑走路も整備する。

今後発生が予想される「南海トラフ地震」や「奈良盆地東縁断層帯地震」など大規模災害に備え、県内のみならず紀伊半島エリアを広くカバーし、救助要員の集結・派遣、救援物資の受入・配送などを担う「奈良県大規模広域防災拠点」の整備を行うこととしています。場所は、紀伊半島の中心に位置し津波被害の心配がないこと、京奈和自動車道をはじめとする紀伊半島アンカールートに近接するなど道路交通アクセスが優れていること、近傍に救急医療を担う医療施設等の立地があることなどを踏まえ、奈良県五條市に整備することとしています。

現行の広域防災拠点(4施設=奈良競輪場、第2浄化センター、消防学校、吉野川浄化センター)は、地震や水害による被災リスクを抱えていることから、災害発生時に有効に機能する新たな広域防災拠点の整備が必要となりました。

的確な災害救援活動のため、大量かつ迅速な人員・物資の輸送を実現し、最新の大型輸送機と多数のヘリコプターが離発着できる2,000m級滑走路や、1万人規模の人員を収容するベースキャンプ・航空機輸送と連携した航空搬送拠点臨時医療施設(SCU)も設置します。

### ひとしのひとりごと

〇…この県政報告が皆さまのお手元に届く頃には東京オリンピック・パラリンピックが開催されていることと思います。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、延期されていたものですが、いざ開幕となるとすったもんだの議論となり、国論を二分するような勢いでした。

〇…いろんな意見があることはまた、健全な民主主義社会であるともいえますが、いずれにしても決定した以上は、今までの事は、いままでの事と、割り切り開催を成功へと導く努力も必要ではないかと思えます。

〇…オリンピックほど派手ではありませんが、奈良県の最北端で行われた奈良市長選も熱い戦いが繰り広げられました。現職に新人4人が挑むという異例の構図となりました。いずれにしても争点である火葬場やゴミ処理施設が今後どうなっていくのか、個人的にも興味深いところです。

〇…一方、奈良の南では地域の方々の頑張りによって「につぼんの宝物 JAPANグランプリ」にて事業者の方々が優秀な成績を納められました。こちらは何も考えずに拍手喝采です。



県政に関する疑問や質問は、西川ひとしにお寄せください。

〒639-2141 葛城市弁之庄58-2  
TEL:0745-69-1234 FAX:0745-69-7891